



平成30年度 安全就業講演会

演題「安全就業について」

日時 平成30年5月28日（月）

場所 綾川町もみじ温泉社会福祉センター休憩室

講師（公社） 香川県シルバー人材センター連合会
安全就業パトロール推進員 三好英運

主催 （公社）綾川町シルバー人材センター



目 次

1. 平成 29 年度 傷害事故発生状況(速報)の分析
2. 平成 29 年度 損害賠償事故発生状況(速報)の分析
3. 安全パトロールで、特に気になったこと
4. 加齢に伴う身体機能の低下
5. 熱中症対策について
6. マダニによる感染症対策について

1. 平成29年度 傷害事故発生状況(速報)の分析

傷害事故件数は、58 件で前年度の70件より、12件（前年対比約18%）減少しております。

平成28年度の全国平均並みの事故件数は、香川県の場合53件であり、全シ協年度統計から算出した「ほぼ全国並み」より、約9%程度、多く発生しております。

傷害事故には、就業中と就業途上の2種類があります。

まず **就業中**が、46件で、前年度56件より10件（前年対比約18%）減少

仕事別

- ① 除草作業 15件 うち転落 4
- ② 剪定作業 14件 転落 9
- ③ 建物清掃 4件 全て転倒

除草作業は、前年度の14件から1件増えて15件。

転落以外に蜂刺されも多く、現場の事前確認が重要です。

事故の型別

- ① 転落 14件
- ② 転倒 10件
- ③ 蜂刺され等 5件
- ④ 切れ・こすれ 4件

前年度の1番目であった転倒19件が、9件減少して10件で2番目となり、29年度の1番目は、転落の15件から1件減少して14件となりました。なお、件数的には、転倒、転落とも減少しました。

29年度は、剪定作業中のチェーンソー取扱い中の事故が珍しく発生しました。

性別

男38人、女8人
前年対比、男6人、女4人共減少。
なお、男性発生率が高い。

事故発生者の年齢階層

65歳～74歳の階層が、30件で65%を占めており、就業率に比例している。

傷害程度別

()書きは、前年度

- 入院6か月以上 男 1 (1) 人、女 0 (0) 人
- 入院1か月以上～6か月未満 男 6 (8) 人、女 0 (1) 人
- 入院1か月未満及び通院 男 31 (35) 人、女 7 (11) 人
- 後遺障害 男 0 (1) 人、女 1 (0) 人

前年度は男性で重篤が1件ありましたが、今年も1件重篤はありました。

しかも、死亡という最悪のケースが発生。たまたま単独就業が悲しい結果を招いた可能性も否めません。命の大切さを再確認する必要があります。1か月以上6か月未満入院が9件から6件に減。仕事別では除草2件、剪定4件。事故の型は全て転落。バランスを崩すことが原因。1か月未満はほぼ横ばい。また、後遺障害(30%以上給付)は、前年度同様に1件発生しております。

次に **就業途上**が 12 件で、前年度 14 件より 2 件減少。

交通手段別

事故発生時の乗り物等は、前年度とほぼ変わらず、①自転車、自動車 各 4 件
②バイク 3 件 ③徒歩 1 件

性 別

男性 4 人、女性 8 人
前年対比で、男性 2 人減、女性同じ

事故発生者の年齢階層

70 歳から 74 歳の年齢層が、6 件の交通事故を起こしており、中・高齢の事故の発生が高い。

傷害程度別

()書きは、前年度

入院 6 か月以上	男	0 (0) 人、女	0 (1) 人
入院 1 か月以上～6 か月未満	男	0 (1) 人、女	3 (3) 人
入院 1 か月未満及び通院	男	4 (5) 人、女	5 (4) 人

今年は、重篤事故が発生していません。

2. 平成 29 年度 損害賠償事故発生状況(速報)の分析

多発している損害賠償事故を減少させるため、平成 28 年度から、損害賠償事故についても調査を開始しました。

平成 29 年度に、損害賠償事故件数が、**39 件**(前年度 52 件より 13 件減少)発生しております。前年度と比べて件数減は、調査開始による抑止効果も関係していると思われます。

仕 事 別

- ① 除草作業 31 件 飛散 27 件
- ② 剪定作業 3 件 接触 1 件
- ③ 木工製品製造 2 件 (10%)

性 別

男性 39 人 女性 0 人
全て男性の事故。

事故の型別

- ① 飛散損壊 27 件
- ② その他 6 件
- ③ 接触損壊 5 件
- ④ 落下 1 件

約 70%が飛散損壊で、しかも、全てが除草作業中に発生時に発生しており、飛散防護ネット等の活用が望まれます。飛散事故を減らせば、賠償事故も激減すると考えられます。

事故発生者の年齢階層

65 歳から 79 歳の年齢層が、34 件。このうち 26 件が除草中です。なお、これらの事故が賠償事故全体の約 79%を占めています。

3.安全パトロールで、特に気になったこと

剪定作業

- ① 安全帽未着用者の存在と、安全ベルトの装着率が非常に低い。



- ② 三脚などの不適正な使用

- ・天板上に上がったり、跨いだ作業⇒ 作業位置（高さ）に合った長さの三脚の使用
- ・三脚から体を横に乗り出しての作業⇒ 作業位置に合わせて三脚を移動させる。
- ・三脚脚立に係る後付け金具の取付をすること。（全シ協 H30. 3. 8 付通知各 SC から情報を得ること。鎖チェーンが備わっているが、脚の不意の閉じ防止ができない。）

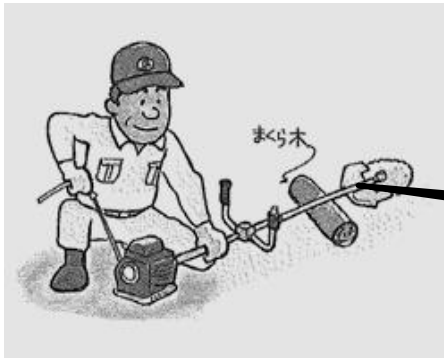
- ③ 両手バサミの仮置きで三脚の棧を柄ではさみ、刃を上向きで置く。⇒ 道具袋に入れる。

除草作業

- ① 作業者の接近⇒ 半径 5 m 以内は近づかない、入れない。



- ② 保護眼鏡、安全帽の未装着者の存在。作業に適さない靴
- ③ 安全カバー無し、欠け、位置の不適正⇒ ヒビ、割れは取り替え、所定位置に取付



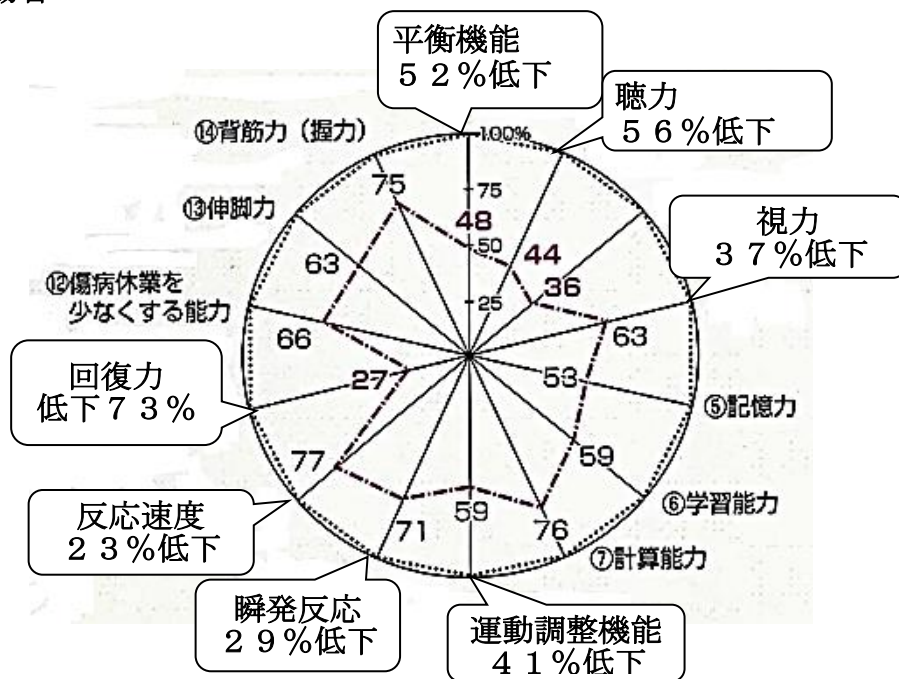
飛散防護カバーの適正な取付位置を確認

- ④ 燃料容器にペットボトルの使用⇒正規の容器を使用する。
- ⑤ 小石等飛散事故防止対策の不備⇒飛散事故防止ネットを張る。



4. 加齢に伴う身体機能の低下

高年齢期（55歳～59歳）の身体機能水準を20歳～24歳の最高期の基準と比較した場合



- 十 高齢者の良い面は、豊富な知識・経験を持ち、判断力、統率力を備えていることです。
- 一 加齢に伴い、個人差は有るが感覚機能と平衡機能の低下が顕著に現れます。
 - ① 反応時間の遅れ、神経伝達速度の低下
 - ② 筋力の低下、動作の緩慢化
 - ③ 安定した姿勢が保てなくなり、転倒しやすくなる。
 - ④ 骨がもろくなり、骨折しやすくなり、直りにくくなる。

5. 熱中症対策について

まもなく梅雨の季節です。暑さによる熱中症対策には、十分気を付けましょう。
予防のポイント

- ① 睡眠や食事、体調に気を付け睡眠不足・二日酔い等の場合は就業を控える。
- ② 就業中は、無理をせず、適度に休憩をとりましょう。
- ③ 気温が高い時は、屋外作業を控えましょう。
- ④ 屋外での作業は、出来るかぎり複数の体制で就業する。
- ⑤ のどが渇く前に、こまめな水分補給をしましょう。

(熱中症に関しては、香川労働局 H30. 5. 15 付通知 各 SC から情報を得ること)

6. マダニによる感染症対策について

1 マダニによる感染症にかからないために

★マダニに咬まれないようにすることが重要です★

- (1) 長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用、首筋にはタオルを巻くなど、肌の露出を少なくしましょう。
- (2) 肌が出る部分は、防虫スプレーを噴霧しましょう。
- (3) 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないようにしましょう。
- (4) 屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニが付いていないかチェックしましょう。
- (5) 作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。
- (6) やぶ等で、犬や猫などの動物にマダニが付くことがあります。ダニ駆除薬もありますので獣医師にご相談ください。

○ 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

(全シ協 安全就業統一スローガン H29～31 年度)

今回の講演を、これからのシルバー事業に活かして、安全な就業に努めてください。
ご清聴ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。